

氏名/所属/職名 楠堂 達也

/ 食物栄養学科

/ 准教授

専門分野				
農芸化学、生物科学、基礎医学				
研究課題				
食品科学、応用生物化学、分子生物学、細胞生物学、環境生理学				
教育活動				
担当授業科目(学部)				
基礎栄養学 I、基礎栄養学 II、基礎栄養学実験、生化学				
担当授業科目(大学院)				
事項	年月	対象者	概要	
教育方法の実践例				
帝塚山学院大学人間科学部食物栄養学科「基礎栄養学 I」	平成 27 年 4 月～	本学 2、3、4 年生	複雑な教科であることから、視覚的に理解ができるよう講義はパワーポイントを用い、適宜資料を配布した。学生の理解と記憶の定着を目的とし各章ごとに小テストを行った。また、栄養に関する最近のトピックについてレポートを貸し、自ら学びとる姿勢を促した。	
帝塚山学院大学人間科学部食物栄養学科「基礎栄養学 II」	平成 27 年 10 月～	本学 2、3、4 年生	基本的には基礎栄養学 I と同様であるが、学生にとって難解な専門科目であるため、ポカリスエットとアクエリアスの正しい飲み分け方など日常生活に応用できる知識を盛り込みながら学生が興味を持つ講義を心がけた。	
帝塚山学院大学人間科学部食物栄養学科「基礎栄養学実験」	平成 27 年 10 月～	本学 2、3、4 年生	目的意識を持つよう、各実験の前には、その実験の持つ意義について概説した。理解を促すために実験資料を改定した。特に動物の解剖実験では、実験動物と学生の双方にとって有意義な講義となるよう努めた。	
帝塚山学院大学人間科学部食物栄養学科「生化学」	平成 27 年 4 月～	本学 2、3、4 年生	多くの学生が苦手とする科目であるため、理解が深まるよう、単純化した内容をパワーポイントで概説した。講義が単調にならないよう要所に質問を投げかけ、双方向になるよう工夫した。	
作成した教材・資料集				
その他教育活動上特記すべき事項				
研究活動				
著書・CD・論文・学会発表・演奏会等の名称	単共の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	共著者、共同発表者、共演者の名前、曲名、担当頁、概要など
著書・訳書・CD 等				

学術論文				
脂肪組織特異的 CREG1 トランスジェニックマウスを利用した褐色脂肪化促進と生活習慣病改善の検討	共	平成 28 年 9 月	BIOMEDICAL GERONTOLOGY(基礎老化研究) 40(3):35-38	橋本 理尋, 楠堂 達也 , 竹内 環, 遠藤 優貴, 山下 均
Dietary supplementation with evodiamine prevents obesity and improves insulin resistance in aging mice.	共	平成 27 年 9 月	J Funct Foods. 19:320-329.	Yamashita H., Kusudo T. , Takeuchi T., Qiao S., Tsutsumiuchi K., Wang T., Wang Y.
Asp3 polymorphism affects fatty acid-binding protein 3 intracellular stability subcellular localization	共	平成 27 年 8 月	FEBS Lett. 589(18):2382-7.	Kusudo T. , Hashida Y., Ando F., Shimokata H., Yamashita H.
A key role for neuropeptide Y in lifespan extension and cancer suppression via dietary restriction.	共	平成 26 年 3 月	Sci Rep. 31;4:4517	Chiba T., Tamashiro Y., Park D., Kusudo T. , Fujie R., Komatsu T., Kim SE., Park S., Hayashi H., Mori R., Yamashita H., Chung HY., Shimokawa I.
A Phenolic Compounds from Leaves of Casimiroa edulis Showed Adipogenesis Activity.	共	平成 26 年 2 月	Biosci Biotechnol Biochem. 78(2):296-300.	Nagai H., Tanaka T., Goto T., Minatani T., Kusudo T. , Takahashi N., Kawada T.
Evodiamine inhibits insulin-stimulated mTOR-S6K activation and IRS serine phosphorylation in adipocytes and improves glucose tolerance in obese.diabetic mice.	共	平成 25 年 12 月	PLoS One. 8(12):e83264.	Wang T., Kusudo T. , Takeuchi T., Yamashita Y., Kontani Y., Okamatsu Y., Saito M., Mori N., Yamashita H.
エボジアミンは肥満とインスリン抵抗性を改善する	共	平成 25 年 2 月	基礎老化研究 37(1), 21-23	山下 均, 王 挺, 楠堂 達也 , 竹内 環, 李 勇学, 喬 善楼, 紺谷 靖英, 森 望
Bixin activates PPAR α and improves obesity-induced abnormalities of carbohydrate and lipid metabolism in mice.	共	平成 24 年 12 月	J Agric Food Chem. 60(48):11952-8.	Goto T., Takahashi N., Kato S., Kim YI., Kusudo T. , Taimatsu A., Egawa K., Kang MS., Hiramatsu T., Sakamoto T., Uemura T., Hirai S., Kobayashi M., Horio F., Kawada T.
Chronic exposure to low frequency noise at moderate levels causes impaired balance in mice.	共	平成 24 年 6 月	PLoS One. 7(6):e39807.	Tamura H., Ohgami N., Yajima I., Iida M., Ohgami K., Fujii N., Itabe H., Kusudo T. , Yamashita H., Kato M.
TRPV4 deficiency increases skeletal muscle metabolic capacity and resistance against diet-induced obesity.	共	平成 24 年 4 月	J Appl Physiol. 112(7):1223-32.	Kusudo T. , Wang Z., Mizuno A., Suzuki M., Yamashita H.
学会発表				
KHDRBS3 による転写後調節は褐色脂肪分化を制御する	共	平成 28 年 12 月	第 39 回日本分子生物学会年会、横浜	楠堂 達也 、宮越あみ、山口奈津絵、向井貴子、片岡直也、山下均
脂肪酸結合タンパク質による脂肪肝改善の可能性	共	平成 28 年 12 月	第 39 回日本分子生物学会年会、横浜	向井貴子、江川美貴、山下均、 楠堂 達也
CREG1 の抗肥満作用に対する環境温度の影響について	共	平成 28 年 12 月	第 39 回日本分子生物学会年会、横浜	遠藤優貴、橋本理尋、竹内環、 楠堂 達也 、岡田只、山下均
脂肪酸結合タンパク質による脂肪蓄積制御	共	平成 28 年 10 月	第 55 回日本栄養・食糧学会近畿支部大会、大阪	楠堂 達也 、向井貴子、江川美貴、山下均
新規な褐色脂肪化誘導因子・分泌糖タンパク質 CREG1	共	平成 28 年 8 月	温熱生理研究会 2016、愛知	楠堂 達也 、橋本理尋、竹内環、遠藤優貴、山下均
脂肪組織特異的 CREG1-Tg マウスによる褐色脂肪化と生活習慣病改善の検討	共	平成 28 年 8 月	温熱生理研究会 2016、愛知	橋本理尋、 楠堂 達也 、竹内環、遠藤優貴、山下均
エボジアミンの長期投与が加齢性肥満、インスリン抵抗性、寿命に与える影響	共	平成 28 年 5 月	第 70 回日本栄養・食糧学会大会、神戸	楠堂 達也 、竹内 環、堤内 要、山下 均
個体レベルにおける分泌型糖タンパク質 CREG1 の作用	共	平成 27 年 12 月	第 88 回日本生化学会第 38 回日本分子生物学会合同大会、神戸	岡田 只士、 楠堂 達也 、竹内 環、遠藤 優貴、橋本 理尋、西沢 祐治、山下 均
褐色脂肪化における分泌糖タンパク質 CREG1 の作用の検討	共	平成 27 年 10 月	第 36 回日本肥満学会肥満学会、大阪	楠堂 達也 、片岡 直哉、橋本 理尋、岡田 只士、山下 均
分泌型糖タンパク質 CREG1 の褐色脂肪化作用	共	平成 27 年 8 月	アディポサイエンスシンポジウム 2015、大阪	楠堂 達也 、遠藤優貴、片岡 直也、橋本理尋、岡田 只士、山下 均
分泌型糖タンパク質 CREG1 は褐色脂肪細胞の分化を促進する	共	平成 26 年 11 月	第 37 回日本分子生物学会年会、横浜	野崎 絢、 楠堂 達也 、山下 均

分泌糖タンパク質 CREG1 による褐色脂肪化作用の解析	共	平成 26 年 10 月	第 35 回日本肥満学会、宮崎	楠堂 達也、片岡 直也、野崎 絢、山下 均
エボジアミンの抗肥満、インスリン抵抗性改善作用	共	平成 26 年 10 月	第 35 回日本肥満学会、宮崎	山下 均、紺谷 靖英、楠堂 達也
エボジアミンによる AMPK リン酸化とインスリン抵抗性改善作用	共	平成 26 年 6 月	第 37 回日本基礎老化学会、大府	山下 均、山下 ゆかり、竹内 環、堤内 要、平野 正吾、楠堂 達也
Cellular repressor Of E1A-stimulated Genes 1 Is A Novel regulator Of Brown Adipocyte Differentiation,	共	平成 26 年 3 月	International Congress on Obesity, Kuala Lumpur	Kusudo T., Kataoka N., Takeuchi T., Nozaki A., Yamashita H.
Evodiamine inhibits insulin-stimulated MTOR-S6K activation via AMPK phosphorylation in adipocytes and prevents obesity and insulin resistance in mice	共	平成 26 年 3 月	International Congress on Obesity, Kuala Lumpur	Yamashita H., Yamashita Y., Takeuchi T., Qiao S., Kusudo T.
CREG1 による褐色脂肪化作用の解析	共	平成 25 年 10 月	第 34 回日本肥満学会、東京	楠堂 達也、片岡 直也、山下 均
エボジアミンは脂肪細胞の mTOR-S6K シグナルを阻害しインスリン抵抗性を改善する	共	平成 25 年 6 月	第 36 回日本基礎老化学会、大阪	山下 均、楠堂 達也、竹内 環、李 勇学、喬 善楼、山下 ゆかり、紺谷 靖英、王 挺、森 望
褐色脂肪化における CREG1 の役割の検討	共	平成 25 年 3 月	日本農芸化学会 2013 年度大会、仙台	楠堂 達也、片岡 直也、李 勇学、江川 美貴、山下 均、
ヒト脂肪酸結合タンパク質3(FABP3)及び SNP 変異体の機能解析	共	平成 24 年 12 月	第 85 回日本生化学会大会、福岡	楠堂 達也、李 勇学、江川 美貴、山下 均
コレステロール食による動脈硬化進展に対する UCP1 欠損の影響について	共	平成 24 年 12 月	第 85 回日本生化学会大会、福岡	小島基希、楠堂 達也、竹内 環、山下 ゆかり、李 勇学、松下博昭、喬 善楼、妹尾 久男、山下 均
The necessity of neuropeptide Y in the effect of dietary restriction in mice.	共	平成 24 年 10 月	Keystone Symposia: Aging and Diseases of Aging, Tokyo	Chiba, T., Komatsu, T., Park, S-J., Mori, R., Kusudo, T., Yamashita, H., Park, D., Chung, H-Y., and Shimokawa, I
UCP1/ApoE ダブルノックアウトマウスにおける皮下白色脂肪の褐色脂肪化に関する遺伝子の解析	共	平成 24 年 9 月	第 33 回日本肥満学会、京都	李 勇学、楠堂 達也、片岡 直也、山下 均
エボジアミンは加齢性肥満とインスリン抵抗性を改善する	共	平成 24 年 7 月	第 35 回日本基礎老化学会、船橋	山下 均、楠堂 達也、竹内 環、李 勇学、喬 善楼、山下 ゆかり、紺谷 靖英、王 挺、森 望
骨格筋の細胞内代謝における脂肪酸結合タンパク質3の役割の検討	共	平成 24 年 3 月	日本農芸化学会 2012 年度大会、京都	楠堂 達也、片岡 直也、山下 均
演奏会・発表会				
その他の研究発表、演奏				
その他の著書、訳書等(雑誌原稿等を含む)				
研究助成金の受給状況				
科研費の採択				
研究タイトル	助成金タイトル、支給元		研究代表者・分担者の区別	
新規褐色脂肪化因子による褐色脂肪化メカニズムの解明と応用基盤の確立	基盤研究(C)/日本学術振興会		楠堂 達也	
	支給額		支給年度	
	4940 千円(直接経費 3800 千円、間接経費 1140 千円)		平成 27 年～平成 29 年	
その他の外部資金による活動				

研究タイトル		助成金タイトル、支給元		研究代表者・分担者の区別	
		支給額		支給年度	
その他研究活動上特記すべき事項		年月		概要	
平成 28 年度私立大学等研究設備整備費等補助金の交付		平成 28 年 2 月		平成 28 年度私立大学等研究設備整備費等補助金を申請(研究設備整備計画書の作成、3 社の相見積書取得)し、採択された。 導入設備:オールインワン蛍光顕微鏡 BZ-X700 (株式会社キーエンス)	
特許出願		平成 25 年 7 月		脂肪肝の予防・改善剤 発明者(中部大学:楠堂 達也、山下 均) 出願番号:特願 2013-149161、文献番号:特開 2015-020969	
特許出願		平成 24 年 8 月		褐色脂肪分化誘導剤 発明者(中部大学:楠堂 達也、山下 均) 出願番号:特願 2012-180905、PCT 出願番号:PCT/JP2013/071591 公告番号: WO2014027608 A1	
学内委員等					
就任期間		機関名・委員名・役職名			
平成 28 年 4 月～		センター入試実施委員会			
平成 28 年 4 月～		研究倫理委員会			
平成 28 年 4 月～平成 29 年 3 月		Voices 運営会議			
社会活動					
学会役員					
就任期間		学会役員名			
公開講座					
講座名、講演タイトル		単共 の別	年月	場所	概要
学外機関委員等					
就任期間		機関名・委員名・役職名			
その他、学会や学術的団体での活動、社会活動上特記すべき事項					
海外での活動					
海外での教育、研究、大学運営、国際貢献にかかわること					
期間	国名	概要			